



中土井鉄信の「地域一番の繁盛塾になるための最強法則」 vol.91

<こんなことをしていると生徒が集まらない！>

2001年にマネジメント・ブレイン・アソシエイツ(MBA)を立ち上げた時、私は、潰れそうな塾の再建を徹底して行っていたと思っていました。そして、18年以上経った今も、潰れそうな塾を再建し、軌道に乗せ、大きくしていくことを続けています。

この18年のコンサル経験で、潰れそうな塾の共通項が分かっています。色々なことがあります。今回は、その中でも簡単に改善できるものを載せます。

1. 校舎・教室が前を向いていない

「前を向く」とは、私たち教室運営者が、どこを見て仕事をしているかを計る物差しです。まだ見ぬ顧客(潜在顧客=まだ接点ももっていない生徒や保護者)を意識して仕事をしているかということです。「塾に来てくれる人が心地良い空間に教室がなっているような心がけや態度」が、前に向くということです。自分たちが見られているんだという意識が希薄な塾は生徒の集まりも悪いものです。以下、具体的に5項目を挙げます。

- ・入り口が汚い
- ・入会グッズがない
入会グッズとは「パンフレット」、「ご挨拶文」、「イベントのご案内」などです。
- ・受付がない
来客の際、ご説明できる場所を確保していない!ということです。
- ・教室に掲示がない
教室(校舎)内には、生徒へのメッセージ、イベントの告知・イベント報告、生徒の成果などの掲示です。
- ・教室が暗い
塾の雰囲気、職員の元気な挨拶、明るい授業、温かいメッセージの掲示物等。物理的暗さ。つまり、暗くなってから、第三者にどうみられるかという意識。

2. 授業がつまらない

つまらない授業とは、生徒の「知的好奇心」を喚起しない授業のことです。すなわち、その逆が「面白い授業」ということです。先生が駄洒落を連発するような授業が面白い授業なのではありません。それは「可笑しい授業」ではあっても、決して知的に面白くはないのです。生徒が面白いと感じる授業が貴塾で行われているのでしょうか。また、生徒ガイダンス等で、生徒に知的刺激を与えているのでしょうか。授業だけでなく、平日頃から、生徒が知的興味を持つ話をするのが重要なことです。

- ・発問のない授業
- ・作業のない授業(演習のない授業)
- ・導入授業に興味付けがない授業
- ・私語厳禁を高圧的な指導でしか実現しない授業
- ・基本動作が徹底しない授業

3. 学力のつかない授業

単発の授業がどんなに良くても、計画性、継続性、ルールの

ない教務指導では生徒の学力は向上しません。教務指導・授業の仕組みが貴塾にはしっかり存在するでしょうか。

- ・カリキュラムがない
- ・家庭学習の決まりがない
- ・確認テスト等がルーチンで組み込まれていない
- ・学力テストが定期的に行われていない
- ・学力テストの解き直しがない

4. 授業以外なものもない

もはや授業だけやっていれば生徒は集まるとい時代ではありません。授業以外のサービス、いわゆる「付加価値」を創造しなければ生徒は集まらないと思います。「楽しい!」、「やる気が出る!」という演出・仕組みを数多く持ってください。

- ・生徒面談や目標設定がない
- ・体験学習や読書感想文などの付加価値がない
- ・学習ガイダンスや卒業生交流会がない
- ・保護者会・保護者面談がない
- ・家庭通信やDTS(デイリーテレフォンサービス)がない

5. 宣伝や広報がない

口コミだけで生徒が集まる塾もあることはあります。しかし、口コミ誘発、問い合わせのきっかけという点で、宣伝・広報は欠かせません。自塾の存在を積極的にアピールして、まずは知ってもらおうこと。それが非常に重要です。長年、その地でやっていても「存在を知られていなかった」というケースが実は意外と多いものです。

- ・チラシがいい加減
- ・塾の存在や塾でやっていることを広報しない
- ・校門配布・ポスティングをしない
- ・保護者宛の行事案内(お知らせ)がない
- ・窓掲示や外部協力を仰がない

以上、逆説的に生徒が集まらない塾を基に、現実的にすぐに改善できるものを挙げました。ぜひ、参考にしてください。

【編集後記】

2019年第2回MBAセミナー開催決定!!

「人が集まる塾にするための集客・教務・広報」

9/29(日)東京・10/20(日)福岡・10/27(日)大阪 お申し込み受付中です!

【参加費(昼食付・税別)】 一般参加…10,000円

メルマガ「塾経営の戦略・戦術エキストラ」読者…7,000円

※MBA塾経営革新メンバーの方は特別価格でご案内します。

★詳しくはこちらから★ <https://management-brain.net/mbaseminar02/>

中土井流の授業術を徹底伝授するストリーミング動画

「生徒のやる気を引き出す教師の授業スキル」好評発売中!

「受容」「共感」「承認」をキーワードに、授業で興味や驚き、感動を与え、生徒のやる気を引き出す方法をお伝えします。

☆詳しい内容紹介・ご購入はこちらから☆

<http://management-brain.com/lp2>

数字でみる学習塾経営・業界のトレンド vol.55

ご存じのように96年前の1923年9月1日、相模湾を震源とするマグニチュード7.9の地震が発生、死者・行方不明者10万5000人、全壊家屋13万棟、半壊13万棟、焼失45万棟の被害をもたらす大災害がありました。関東大震災です。

これを記憶にとどめるために9月1日は「防災の日」とされていますが、その日をまえに栄光ゼミナール(株式会社栄光/東京)が「9月1日『防災の日』に向けた家庭の防災に関する実態調査」を行っています(調査日/7月10日~24日)。調査対象は「小1生から高3生の子どもを持つ保護者」。小学生の保護者385人、中高生の保護者427人から得られた調査結果が8月16日に発表されていますので、一部をご紹介します。

◆災害時に【保護者が子どもに】 連絡を取る際、どのような連絡方法を想定していますか？ (小学生/n=165/複数回答/上位5項目)

子どもの携帯電話にかける	75.2%
子どもの携帯電話にメールをする	51.5%
自宅の固定電話にかける	33.9%
チャットアプリを利用する	29.7%
災害用伝言ダイヤル・伝言板を利用する	25.5%

◆災害時に【保護者が子どもに】 連絡を取る際、どのような連絡方法を想定していますか？ (中高生/n=173/複数回答/上位5項目)

子どもの携帯電話にかける	71.7%
チャットアプリを利用する	59.5%
子どもの携帯電話にメールをする	54.3%
災害用伝言ダイヤル・伝言板を利用する	42.2%
自宅の固定電話にかける	31.8%

携帯電話関連が圧倒的に多いようですね。ちなみに、おそらくは子どもが塾などにいる際を想定してのことでしょうが、「子どもの外出先の固定電話にかける」は小学生が21.8%、中高生が14.5%でした。意外に少ないのではないのでしょうか。

◆災害時に【子どもが保護者に】 連絡を取る際、どのような連絡方法を想定していますか？ (小学生/n=165/複数回答/上位5項目)

保護者の携帯電話にかける	89.7%
保護者の携帯電話にメールをする	46.1%
チャットアプリを利用する	27.3%
子どもが子どものが外出先の大人に保護者への連絡を頼む	21.2%
子どもが自宅の固定電話にかける	20.6%

◆災害時に【子どもが保護者に】 連絡を取る際、どのような連絡方法を想定していますか？ (中高生/n=173/複数回答/上位5項目)

保護者の携帯電話にかける	83.8%
チャットアプリを利用する	57.8%
保護者の携帯電話にメールをする	48.0%
災害用伝言ダイヤル・伝言板を利用する	33.5%
子どもが自宅の固定電話にかける	29.5%

こちらも携帯電話関連が圧倒しています。

◆子どものと離れているときに災害が起こった場合に備え、 学校以外の子どもの外出先(塾・習い事・学童保育など)の 大人似たいし、どのようなことを実践してほしいですか？ (小学生/n=369/最大3つまでの複数回答/上位5項目)

災害発生時に避難が必要となった場合、 適切に安全な場所に子どもを誘導してほしい	74.8%
災害時に耐えられる安全性の高い設備設計や 消火器設置などの環境を整備してほしい	60.4%
災害時の保護者への連絡方法や避難場所、 引き渡しまでの対応を事前に説明してほしい	58.3%
災害発生時に確実に保護者と連絡が取れるよう、 電話以外の手段も使えるようにしてほしい	52.3%
災害発生時に子どもの不安を和らげてほしい	49.9%

◆子どものと離れているときに災害が起こった場合に備え、 学校以外の子どもの外出先(塾・習い事・学童保育など)の 大人似たいし、どのようなことを実践してほしいですか？ (中高生/n=367/最大3つまでの複数回答/上位5項目)

災害発生時に避難が必要となった場合、 適切に安全な場所に子どもを誘導してほしい	71.5%
災害時に耐えられる安全性の高い設備設計や 消火器設置などの環境を整備してほしい	56.4%
災害発生時に確実に保護者と連絡が取れるよう、 電話以外の手段も使えるようにしてほしい	49.4%
災害時の保護者への連絡方法や避難場所、 引き渡しまでの対応を事前に説明してほしい	47.9%
災害時備蓄品を設置してほしい	44.8%

個人的な印象ですが、調査結果から気づかされるのが2つありました。

1. 塾は、災害時にどう対応すべきかキチンとしたマニュアルを作成して、保護者に周知徹底しておくこと。
2. 携帯電話の持ち込みを禁止したり、持ち込んだ際は塾が一括保管したりしている塾が少なくないが、持ち込み許可は当然のこと、各自所持させよう、授業中はマナーモードに切り替えさせるか、電源オフにさせておくほうが賢明なこと。

言うまでもなくこの国は災害列島です。とくに地震はいつ来るのか、見当もつきません。あらかじめ被害を最小限に防ぐ対策を講じておくとともに、どうすれば保護者を安心させることができるのかについても一度、塾内で検討してみてください

PS・コンサルティング・システム
小林 弘典